

.....

館園名 : 大島町絵本館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1994 年 08 月 23 日

所在地

・ 〒939 ー0283 富山県射水郡大島町鳥取 50

公式サイト

・ <http://www.iijnet.or.jp/ehonkan/>

設立主体

・ 大島町

運営主体

・ 財団法人 大島町絵本文化振興財団

設立目的

・ 「感じる」「つくる」「伝える」をテーマに絵本文化の推進と、うるおいに満ちた夢づくり・人づくりをめざす。

展示概要

・ 絵本の原画や絵本を収集。テーマに沿った企画展を行う。

活動概要

・ ギャラリーでの原画の展示や、ライブラリーでの絵本の閲覧。親子の創作教室・製本教室などがおこなわれるワークショップの開催。シアターでは、講演や演劇などが開催される。また、パフォーマンスホールやシアターは貸し出しも行っている。ほか、カフェギャラリーなど。
・ 年四回、季刊誌として「絵本通信」を発行。

延床面積

・ 2,405 m²

全職員数（常勤職員）

・ 8 名（ 2005 年 1 月現在）

年間運営費

・ 98,632,000 円（2003年度）

総資料点数

・ 点（ 年 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：絵本館ボランティア エンジェルス
活動目的・経緯

・

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 107 名（ 2005 年 1 月現在）
- ・ 男性： 12 名、女性： 95 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 絵本館の活動の補助（ライブラリー整理、おもちゃ病院、ワークショップなど各種イベントの手伝い、絵本（英語含む）読み聞かせ）

・

・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

.....

館園名 : 高岡市万葉歴史館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1990年10月28日

所在地

- ・ 〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮1-11-11

公式サイト

- ・ <http://www.manreki.com>

設立主体

- ・ 高岡市

運営主体

- ・ 財団法人高岡市民文化振興事業団

設立目的

- ・ 1989年の市制100年を記念する事業に位置づけて、万葉集をテーマ別に展示・教育・研究する施設として開館。

展示概要

- ・ 大伴家持の生涯を語る「家持劇場」、家持の歌の世界を最新の映像装置で見ることができるメディアボックス、四季のシンボル造形、万葉風土圏のグラフィックパネル、漏刻、遣唐使船などを展示。
- ・ 万葉集と上代文学に関する図書・研究論文約62,000冊。注釈書、古写本等の収集は全国屈指。

活動概要

- ・ 特別企画展（年2回）、紀要・叢書・研究論集の刊行、万葉に関する文献資料の収集、万葉セミナー、万葉学習講座などを実施。

延床面積

- ・ 2,281㎡

全職員数

- ・ 17名

年間運営費

- ・ 73,179千円（2004年、人件費除く）

総資料点数

- ・ 63,385点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：和草（にこぐさ）

活動目的・経緯

- ・ 1992年、「ボランティアによる館内の案内・説明を行っては」という「市長への手紙」がきっかけとなり、発足。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 16名（2005年）
- ・ 男性：1名、女性：15名（ 年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：管理担当 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①館内の案内・説明。

活動その他

- ・ 年に1度、座談会を行う。
- ・ 適宜、研修会を行う。

関連する出版物

- ・ 万葉を愛する会だより（年3回）

関連するHP

- ・ <http://www.manreki.com>（高岡市万葉歴史館HP）

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①館内の案内・説明

◇活動開始年

- ・ 1992年

◇活動人数

- ・ 16名(2005年)

◇活動内容

- ・ 館内の案内・説明を行う。

◇活動日

- ・ 土・日・祭日(9:00~16:00)。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。

◇運営(シフト 等)

- ・ 1日、3~4人体制。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 年に1度、座談会を行う。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 随時募集。
- ・ 定年制なし。任期3年(更新あり)。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 常設・企画展示替えにともなう研修を行う。
- ・ 自主的に勉強会を行う。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費相当分を助成。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動が固定化し、メンバーが高齢化してきているので、若返りを考える必要がある。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 富山県水墨美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1999年04月29日

所在地

- ・ 〒930-0887 富山県富山市五福 777

公式サイト

- ・ <http://www.pref.toyama.jp/branches/3044/3044.htm>

設立主体

- ・ 富山県

運営主体

- ・ 財団法人富山県文化振興財団

設立目的

- ・ 本県出身の日本画家下保昭氏の画業をほぼ網羅した作品 150 点を収蔵し有効に活用することに加え、日本の風土と伝統の中ではぐくまれた水墨画等の文化的所産を紹介し、県民の教養の向上と文化の発展に寄与することを目的とする。

展示概要

- ・ 水墨画を中心に、陶芸、金工、漆芸を含めた約 450 点を収蔵。常設展テーマ「近代水墨画の系譜」「下保昭作品室」。

活動概要

- ・ 企画展、情報コーナー、茶室の活用、友の会（ボランティア）活動など。

延床面積

- ・ 3,215 m²

全職員数

- ・ 9名

年間運営費

- ・

総資料点数

- ・ 約 450 点

その他

- ・ 併設の茶室や庭園など、多様な視点から日本文化の美に触れることができる。

2. ボランティア活動 名称：富山県水墨美術館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1999年4月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 33名（2004年）
- ・ 男性：8名、女性：25名（2004年）
- ・ 平均年齢64歳：男性71歳、女性61歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸課 担当人数：常勤 名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ 常設展示の作品解説、館内案内、資料整理、庭園管理。

活動その他

- ・ 火曜日～日曜日に活動。
- ・ 活動費は、友の会から支給。
- ・ 個別のボランティア室あり。
- ・ 富山県水墨美術館友の会（ボランティア会員）により運営。
- ・ 6班に分かれ、1日5名程度で活動。
- ・ 曜日ごとの当番制（1人月3回程度）。
- ・ リーダー会を実施。
- ・ 部会長からの電話連絡。
- ・ 控え室の掲示板案内。
- ・ 不定期に一般公募。
- ・ 事前研修あり。
- ・ 定年70歳。
- ・ 任期1年。
- ・ 常設展学習会を実施。
- ・ 交通費を支給。
- ・ ボランティア保険に加入。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート 常設展示の作品解説、館内案内、資料整理、庭園管理

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 33 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 常設展示の作品解説、館内案内、資料整理、庭園管理。

◇活動日

- ・ 火曜日～日曜日

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 活動費は、友の会から支給。
- ・ 個別のボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 6 班に分かれ、1 日 5 名程度で活動。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ リーダー会を実施。
- ・ 常設展学習会を実施。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修あり。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費を支給。
- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 富山県 [立山博物館]

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・ 1991 年 11 月 01 日

所在地

・ 〒930 ー1406 富山県中新川郡館山町芦峯寺 93-1

公式サイト

・ <http://www.pref.toyama.jp/branches/3043/>

設立主体

・ 富山県

運営主体

・ 財団法人富山県文化振興財団

設立目的

・ 「立山の自然と人間のかかわり」について、人文、自然の両分野を学術的・総合的に調査研究し、その成果を紹介する。

展示概要

・ 展示館 (常設展、年 2 回の特別企画展)、映像資料で立山の自然と「立山曼荼羅」の世界を体感する映像ホール遙望館、「立山曼荼羅」の世界をオブジェやアート等で体感するまんだら遊苑の三施設を中心に立山の精神的世界を展示。立山曼荼羅の世界を基本コンセプトとしている。

活動概要

・ 上記展示のほか、3 ヘクタールの敷地に、かつての景観をしのばせる「宿坊」や「布橋」・「うば堂基壇」などの復元施設を含めて 11 施設を有する。
・ 各種講座、講演会、ラリーなどの開催。
・ 要覧、図録の発行。

延床面積

・ 5,938.74 m²

全職員数 (常勤職員)

・ 44 名 (2004 年 12 月現在)

年間運営費

・ 円 (2003 年度)

総資料点数

・ 点 (年 月現在)

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：富山県 [立山博物館] ボランティア

活動目的・経緯

・ボランティア会員の教養に資するとともに、博物館の活動を支援し、立山の歴史・文化を広く県民へ普及するに寄与することを目的とする。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 104 名（ 2004 年 04 月現在）
- ・ 男性： 59 名、女性： 45 名
- ・ 平均年齢 約 60～65 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2004 年 4 月現在）

- ・ 部局名称： 学芸課
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ボランティア A（博物館まんだら遊苑および立山信仰遺跡などの開設を活動とする。）
- ・ ボランティア B（教算坊庭園の環境整備作業等を活動とする。）
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：ボランティア A

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 104 名（ 2004 年 4 月現在）

◇活動内容

- ・ 博物館まんだら遊苑および立山信仰遺跡などの開設を活動とする。

◇活動日

- ・ 四月一日から十一月三十日の各自都合の良い日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算は非公開、ボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 自由。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ なし

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 現在は行っていない。三月末に更新可能。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 立山信仰に関する教養研修、解説施設、展示に関する学習、イベント参加を通じた研修、などの研修を適宜行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費を実費で支給。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ 高齢化。

◇その他

- ・ なし。

活動個別シート② 活動名：ボランティア B

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 104 名（ 2004 年 4 月現在）

◇活動内容

- ・ 教算坊庭園の環境整備作業等を活動とする。

◇活動日

- ・ 四月一日から十一月三十日の各自都合の良い日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算は非公開、ボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 自由。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ なし

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 現在は行っていない。三月末に更新可能。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 立山信仰に関する教養研修、解説施設、展示に関する学習、イベント参加を通じた研修、などの研修を適宜行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費を実費で支給。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ 高齢化。

◇その他

- ・ なし。

.....

館園名 : 富山県中央植物園

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1996年04月26日

所在地

- ・ 〒939-2713 富山県婦負郡婦中町上轡田 42

公式サイト

- ・

設立主体

- ・

運営主体

- ・

設立目的

- ・ 「富山県植物公園構想」の中核施設。植物の収集・調査・研究といった機能に加え、公園としての機能、社会教育の場としての機能を併せ持つ。

展示概要

- ・ 日本の野生植物、中国雲南省の植物、熱帯・亜熱帯の植物、高山植物、有用植物など、約3,700種類の植物を展示。

活動概要

- ・

延床面積

- ・

全職員数

- ・

年間運営費

- ・

総資料点数

- ・

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：富山県中央植物園ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1997年、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 35名（2004年）
- ・ 男性：17名、女性：18名（2004年）
- ・ 平均年齢47歳：男性48歳、女性46歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：企画情報課 担当人数：常勤 名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①日曜植物案内、②夜間臨時開園のガイド、③植物標本の作製・整理、④開花調査、⑤栽培（展示）ボランティア。

活動その他

- ・ 園の担当者とグループの連絡者が協議して運営。
- ・ メンバーには、個別に協力を依頼。
- ・ 連絡会（ドリアスの会）を年数回実施。
- ・ 友の会の会員で、指定10講座を修了すれば認定される。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・ 館が、植物園教育事業において実施。
- ・ 連絡方法を改善する必要がある。
- ・ ガイドツアーなどを定期的に行うために、ボランティアの増員が望まれる。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①日曜植物案内

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 3 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 園内ガイドツアーでの植物解説 (1 時間)。
- ・ 事前募集しないため、参加者は 0~50 名と一定しない。

◇活動日

- ・ 毎月第 1 日曜日

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 園職員 1 名が補助 (参加者多数の場合は、ガイドする)。

◇交流 (情報、組織 等)

・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ ボランティア認定者から希望を募る。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 実施前に、自主的に事前調査を行う。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

・

◇評価

- ・ 入園者の視点での説明が、好評である。

◇課題と展望

- ・ 参加者が、天候・季節によってはほとんどいないことがあるので、利用者増を計りたい。

◇その他

・

活動個別シート ②夜間臨時開園のガイド

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 16 名 (2004 年) ※延べ人数

◇活動内容

- ・ 入園者への解説。

◇活動日

- ・ お盆の 2 日間。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ ボランティアにDMを送り募集。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 職員が、事前研修を実施 (1 日間)。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 保険に加入。

◇評価

- ・ 重要な役割を担って頂いており、園として助かっている。

◇課題と展望

- ・ お盆の期間なので、ボランティアの確保が困難である。

◇その他

- ・

活動個別シート ③植物標本の作製・整理

◇活動開始年

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 2名(2005年)

◇活動内容

- ・ 植物さく葉標本のクリーニング、台紙への貼付を行う。

◇活動日

- ・ 平日を中心に、月3～4日活動。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ クリーニング、貼付用品を貸与。

◇運営(シフト 等)

- ・ ボランティアの方の都合のよい日時を、1ヶ月ごとに聞き、決定。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 職員が随時顔を出し、植物に関する質問等に対応している。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 随時募集。
- ・ 経験者からの口コミにより興味を持った方が中心。
- ・ 定年制、人数制限なし。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 開始時から数回は、標本担当職員がレクチャーを行う。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 未整理の標本の増加が見込まれることから、増員が期待される。

◇その他

- ・ 標本に触れることで、植物分類に対する知識が増えることを楽しみに活動されている。
- ・ 自ら標本を作製、同定し、寄贈もして下さっている。

活動個別シート ④開花調査

◇活動開始年

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 2 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ ウメの品種別開花調査 (1998～2001 年、4 名)。
- ・ ボタン、シャクヤクの品種別開花調査 (2000～2004 年、2 名)。

◇活動日

- ・ 各種とも、開花期間の週 2 日程度。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 調査回数を増やしたいが、週 3 日は現状では難しい。

◇その他

- ・

活動個別シート ⑤栽培（展示）ボランティア

◇活動開始年

- ・ 2004年

◇活動人数

- ・ 6名（2005年）

◇活動内容

- ・ 植え替え、除草などの管理。

◇活動日

- ・ 主に第1土曜日、第3木曜日（全員参加日）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 日誌により、情報交換。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 自主的に学習。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・ 積極的に活動している。

◇課題と展望

- ・ 展示植物の充実、展示方法の検討、人数の補充が課題。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 富山県埋蔵文化財センター

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1977年01月04日

所在地

- ・ 〒930-0115 富山県富山市茶屋町206-3

公式サイト

- ・ <http://www.pref.toyama.jp/branches/3041/3041.htm>

設立主体

- ・ 富山県

運営主体

- ・ 富山県

設立目的

- ・ 埋蔵文化財の調査・研究と保存・活用を目的として設立。

展示概要

- ・ 土器・石器・木器など県内出土の旧石器時代から近世にわたる代表的な考古資料を収蔵・展示。

活動概要

- ・ 埋蔵文化財の調査と研究、企画展、特別展、公開講座、普及講座、考古学教室を開催。
- ・ 発掘調査報告書、年報、所報、特別展図録などを刊行。

延床面積

- ・ 3,007 m²

全職員数

- ・ 16名

年間運営費

- ・ 約16,000千円

総資料点数

- ・ 約37,000箱

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：展示解説ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 埋蔵文化財の理解を深めて頂くため、入館者に展示解説や体験学習の補助などのボランティアを行う。
- ・ 2003年4月、展示室の土日祝日開館を契機に、展示解説ボランティアを募る。養成研修を行い、同年9月に発足。2003年度は、18人が登録。
- ・ 2004年度も受講者を募り、研修後の8月に10人が登録。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 28名（2004年）
- ・ 男性：21名、女性：7名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：企画調整課 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①展示解説。

活動その他

- ・ ・展示室は一室（約210㎡）のみであるが、年3回の企画展を実施しており、新たな企画展ごとに展示学習会を事前に実施している。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①展示解説

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 28 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 企画展の展示解説を行う。

◇活動日

- ・ 土日祝日 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 養成研修費を計上。
- ・ ボランティア室あり。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 館により運営。養成研修の調整、事務連絡や活動日調整などを行う。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 活動日誌あり。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ ホームページ、新聞などにて募集 (今後新たな募集予定はない)。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 養成研修 (職員による、時代概説)、4 回。
- ・ 展示学習会、3 回。
- ・ 冬期学習会、3 回。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 研修初年度のみ、交通費を支給。

◇評価

- ・ 総じて活動に熱心である。

◇課題と展望

- ・ 今後、毎年ボランティア登録して頂き、活動を行う予定。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 富山県立近代美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1981年07月05日

所在地

- ・ 〒939-8636 富山県富山市西中野町1-16-12

公式サイト

- ・ <http://www.pref.toyama.jp/branches/3042/3042htm>

設立主体

- ・ 富山県

運営主体

- ・ 財団法人富山県文化振興財団

設立目的

- ・ 20世紀美術の流れを展望するとともに、郷土美術の伝統を確かめ、発展させることを目的として設立。21世紀を目指して、新しい創造の可能性を見出すにふさわしい文化拠点として、その役割を果たしていくことが目的。

展示概要

- ・ 常設展示：欧米を中心とする20世紀以降の近代美術の流れをたどる。

活動概要

- ・ 世界、日本、郷土の3視点に立って、近代から現代への美術の様相を展望する企画展示を開催。

延床面積

- ・ 8,195.30 m²

全職員数

- ・ 16名

年間運営費

- ・ 289,484千円（2003年度）

総資料点数

- ・ 11,722点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：富山県立近代美術館ボランティア「どおむの会」

活動目的・経緯

- ・ 1985年9月、館の活動の活性化を図るとともに、自主的な生涯学習活動を援助し発展を図るため、富山近美友の会が活動の一環として、ボランティア養成講座を開催。館が指導と補助を行った。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 46名（2005年）
- ・ 男性： 名、女性： 名（ 年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：普及課 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①解説ガイド、②発送作業補助、③資料の整理、④レファレンスサービス、⑤普及活動の準備・協力。

活動その他

- ・ 研修等の予算：年間約4万3千円。
- ・ ボランティア室あり。
- ・ 館により運営。
- ・ 曜日ごとに当番を決めている。
- ・ 毎日2～4名活動。
- ・ 最小活動期間は、月2回。
- ・ ボランティア活動推進委員会を設置。代表1名、副代表2名を決める。
- ・ ボランティア室に、情報を掲示。
- ・ 友の会の機関誌を発行。
- ・ 不定期に一般公募。新聞、広報誌等で広報。
- ・ 条件：県内在住の18歳以上の方。月に2～3回活動できる方。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・ 養成講座の後、希望により正式のボランティアとなる。
- ・ 館が企画展・常設展示替えごとの学習会、特別研修、見学会を実施。
- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 展覧会無料、図録進呈の特典あり。
- ・ 交通費のみ実費で支給。
- ・ 評価は特に行っていない（将来は、永年奉仕者の表彰を行う必要があると考えている）。
- ・ 展示作品の解説は、ボランティアにとって最も興味のある業務となっている。また、分かりにくい現代美術に来館者が興味を持つよう努力することに意義を感じる人が多い。
- ・ 館や来館者のためというよりは、何よりも自分自身が人間としてより成長したいという強い志をボランティアの一人一人が持って、自主的に生涯教育を実践している。
- ・ 2003年度より、ボランティアの人数も増えたので、活動内容について、さらなる充実発展を望んでいる。

- ・ 現在、全ての人が同じ活動をしているが、分担してはどうか、常設ガイドを、定期的な活動にしてはどうか、といった問題に対するボランティアさんの考えをまとめ、館の活動の充実を図りたい。
- ・ 館としては、受け入れ態勢を充実するとともに、生涯教育の見地から、社会にボランティアに対する理解が深まるよう努力しなければならない。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①解説ガイド

◇活動開始年

- ・ 1985 年

◇活動人数

- ・ 46 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 常設展の解説ガイド。

◇活動日

- ・ 毎日活動 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 平日・土曜日：曜日当番で、希望によりガイドを行う。
- ・ 日曜日：午前、午後、各 1 名ずつ、常設 I のギャラリートークを実施。

◇交流 (情報、組織 等)

・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

・

◇評価

- ・ 2004 年 8 月に始めた日曜定時トークは、好評である。

◇課題と展望

- ・ 日曜の定時トークは 2004 年 8 月よりはじめた。好評につき、誰にも行っている。今後も状況をみて対応したい。

◇その他

・

活動個別シート ②発送作業補助

◇活動開始年

- ・ 1985 年

◇活動人数

- ・ 46 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 広報印刷物の発送作業補助。

◇活動日

- ・ 不定期 (発送作業のある日。年に 10 日程度)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 都合のつく会員が参加。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ③資料の整理

◇活動開始年

- ・ 1992 年

◇活動人数

- ・ 46 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 新聞や展覧会情報など、資料の整理を行う。

◇活動日

- ・ 毎日活動 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 当番が、新聞の切り抜き、チラシ整理を行う。
- ・ 不定期に、学芸員立会いのもと、さらに整理する。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ④レファレンスサービス

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 46 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 図書閲覧室での監視・レファレンスサービスを行う。

◇活動日

- ・ 毎日活動（休館日を除く）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 当番が担当。来館者の求めに応じて、レファレンスサービスを行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ⑤普及活動の準備・協力

◇活動開始年

- ・ 1985 年

◇活動人数

- ・ 46 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 普及活動への参加。

◇活動日

- ・ イベント、館外展示事業等の期間。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 希望をとり活動。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 活動を希望する会員を募る。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事業に合わせて、あらかじめ説明、研修を行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 富山市科学文化センター

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1979年11月23日

所在地

- ・ 〒939-8084 富山県富山市西中野町1-8-31

公式サイト

- ・ <http://www.tsm.toyama.toyama.jp/index.shtml>

設立主体

- ・ 富山市

運営主体

- ・ 富山市教育委員会

設立目的

- ・ 富山を中心とした自然に関する資料の収集、保管、調査研究を行い、その成果を紹介し、生涯学習の拠点として市民が楽しく学習できる開かれた博物館を目指す。

展示概要

- ・ 理工展示コーナー:水や雪・気象を素材とする体験・体感型実験装置を中心に構成している。
- ・ 自然史展示コーナー:富山の人々の生活や文化を育ててきた郷土の自然の特徴や、自然と人間の関わり合いについて展示。
- ・ 附属富山市天文台:1m反射望遠鏡、星座の部屋、野鳥観察コーナーを備える。

活動概要

- ・ 特別展、普及教室を実施。
- ・ 館報(年1回)、研究報告書(年1回)、収蔵資料目録(年1回)、とやまと自然(年4回)を出版。
- ・ 附属富山市天文台:観測会、解説を行う。

延床面積

- ・ 6,707.89㎡(科学文化センター) 800.35㎡(天文台)

全職員数

- ・ 26名

年間運営費

- ・

総資料点数

- ・ 365,000点

その他

- ・ 展示のリニューアル計画が進行中である。

2. ボランティア活動 名称：富山市科学文化センターボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1992年度から、生涯学習活動の一環として、また市民と館を結ぶ要の1つとして活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 103名（2004年）
- ・ 男性：50名、女性：53名（2004年）※データがないので、推定値
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸課 担当人数：常勤2名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ 教育ボランティア、イベントのサポート、情報ボランティア、資料の収集・整理、天文台の活動サポート。

活動その他

- ・ 通信連絡費、保険料など、年間予算約40万円。
- ・ 電話で連絡する。
- ・ 採用後、自然史、天文、理工、などの研修を、職員が講師となって3日間実施。
- ・ 保険に加入。
- ・ 自主学習を志す人が多く、多種多様な希望や目的を持っている。
- ・ 多種多様なメニューを用意して、ボランティア側の希望に出来るだけ応えたい。
- ・ 館側の積極的アプローチと、ボランティア側の事故学習意欲、社会奉仕に喜びを感じる精神がマッチした、日本型のボランティア活動のあり方を模索したい。

関連する出版物

- ・ 連絡紙「ボランティア通信」を発行（隔月）。

関連するHP

- ・ <http://www.tsm.toyama.toyama.jp/index.shtml>

館外組織（NPO等）との連携

- ・

活動個別シート ①教育ボランティア

◇活動開始年

- ・ 1992 年

◇活動人数

- ・ 103 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・

◇活動日

- ・

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 滑川市立博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1979年10月11日

所在地

- ・ 〒936-0835 富山県滑川市開676

公式サイト

・

設立主体

- ・ 滑川市

運営主体

- ・ 滑川市

設立目的

- ・ 香り高い文化の町づくり政策の拠点として、諸資料の調査収集活動、売薬資料展・美術展、教育普及活動を実施する。

展示概要

- ・ 滑川市の歴史と民俗、自然環境について、立体模型やグラフィックパネルを用いて展示。
- ・ とくに、幕末から明治時代初期にかけての滑川の町並みをデフォルメして構築。
- ・ この他、郷土の先賢コーナー、味噌・醤油小売商・旅籠なども再現。

活動概要

- ・ 郷土滑川に関連した歴史、文化、自然、美術等をテーマとした企画展を開催。
- ・ 各種文化・教養講座・教室を開催。
- ・ 図録・博物館だよりを発行。

延床面積

- ・ 3,553 m²

全職員数

- ・ 3人

年間運営費

- ・ 26,510千円(2004年度)

総資料点数

- ・ 17,863点

その他

・

2. ボランティア活動 名称：展覧会会場看視ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 2001 年の博物館移転後、露出展示が多くなり、会場看視が必要になったことから、友の会と協議し、有志の方にボランティアとして出て頂くことになった。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 約 40 名（ 2003 年）
- ・ 男性： 名、女性： 名（ 年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：博物館職員 担当人数：常勤 1 名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①会場の看視。

活動その他

- ・ 博物館の展示に合わせて、友の会と協議し、会員の内の有志に活動してもらっている。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①会場の看視

◇活動開始年

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 約40名(2003年)

◇活動内容

・

◇活動日

- ・ 企画展開催日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営(シフト 等)

・

◇交流(情報、組織 等)

・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 展示に合わせて、友の会と協議し、有志に活動して頂いている。

◇研修(種類、内容、講師 等)

・

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 活動日数に応じて、食費程度を支給。

◇評価

- ・ 友の会会員が、館に積極的に関わるとともに、会員の文化・教養の向上に資する事業となっている。

◇課題と展望

- ・ 日程調整が困難で、日によって人数が異なる。
- ・ 時期・予算等により、活動が恒常的でない。

◇その他

・

.....

館園名 : 氷見市海浜植物園

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・ 1996 年 05 月 14 日

所在地

・ 〒 935 - 0031 富山県氷見市柳田 3538

公式サイト

・ http://www.city.himi.toyama.jp/~35210hs_frameset.htm

設立主体

・ 氷見市

運営主体

・ 財団法人 海とみどりの協会

設立目的

・ 富山県植物公園構想に基づく海浜植物専門植物園として設立された。衰退の著しい当地の海浜植物の復元と育成につとめ、海浜植物を収集展示し、学習と憩いの場となることを目指す。

展示概要

・ 氷見市の海浜植物のほか、世界各地に生息する昆虫の標本なども収集、常設展示している。

活動概要

・ 上記の展示のほか、マングローブの温室、海浜散策園などの展示が行われている。また、情報センター、図書閲覧コーナー、マルチビジョンコーナー、スカイラウンジ、空中庭園など。各種イベント、教室の開催。

延床面積

・ 2,629 m²

全職員数 (常勤職員)

・ 9 名 (2005 年 1 月現在)

年間運営費

・ 約 69,700,000 円 (2003 年度)

総資料点数

・ 点 (年 月現在)

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：アロマ友の会

活動目的・経緯

・植物園の設立にともない、地域の自然などに関心を持った、学習・交流の場として活動を展開。ガイドサービスなどを行う。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 15 名（ 2005 年 1 月現在）
- ・ 男性： 2 名、女性： 13 名
- ・ 平均年齢 64 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示解説。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 毎月一回の海岸清掃と学習会。
- ・ 年に一回の総会。
- ・ 年に二回の研修会など。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：展示解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1996 年

◇活動人数

- ・ 15 名（ 2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 常設展示、展示植物の説明を行う。

◇活動日

- ・ 不定期、またはガイド養成のある場合。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 植物園補助金として年間 50,000 円。

◇運営（シフト 等）

- ・ 状況に応じて、数人の場合もあれば一人で行う場合もある。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 毎月一回の連絡会。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時、資格は問わず。（年齢・在지는問わない）。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ ボランティアが自主的に行う勉強会（職員が話題の提供を行う場合もある）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・